私たちだからできること

気軽に会いに

話してもいいよ

わたしたちは、「話を聴かせて」と思っている、話し相手です。
認知症の方が、「あなたに話してあげようかな」と、
「役に立ってあげてもいいよ」と思える
対人関係が築けるのは、
わたしたちが治療者でも、介護職でもない、
ただの話し相手だからです。

あなたの気持ちが一番大事

認知症の進行を、周りは受け入れがたいかもしれません。
家族は認めにくく、
介護職の人は何とかして能力を保持してあげようと思うもの。
ときに、それは行動の強制となってしまうこともあります。
傾聴ライターは、認知症のことをちょっぴり知っていて、
気楽にコミュニケーションを楽しめます。
「話したくないときには、また今度にしますね」といえる関係なのです。

その方の歴史を記録する

時代の歴史のなかの一瞬の記録者になれます。
誰も知らず、消えていくこのときに、
こんな人が生きていて、
こんな考えをしていたということを残すことができます。

長いお付き合いを

「おもいで栞作り」を理由に、
気軽に何度でも会いに行くことができます。
住民だからできる、
ご近所コミュニティならではのチカラです。